

JSS 四国 第8回地方会のお知らせ

実行委員長 渡邊 亮司（済生会今治病院）
主催 JSS 四国地方会・日本超音波検査学会

JSS 四国第8回地方会は下記のとおり香川県高松市で開催いたします。近年、超音波検査の役割は多岐にわたり、様々な疾患を評価することが可能で、治療に生かされています。今回のテーマは「ステップアップ！臨床に生かそう超音波検査」で、様々な領域において日常検査に役立つ技術・知識を習得できるような地方会にしたいと思っております。第I部では、婦人科領域、第II部では、心臓領域について講演いただきます。第III部では会員による一般演題発表を行います。第IV部では、頸動脈のライブレクチャーを交えながら講演いただきます。

多数の皆様にご参加いただけますようご案内申し上げます。

記

テーマ：『ステップアップ！臨床に生かそう超音波検査』

日 時：2008年2月17日（日）9時40分～16時20分

会 場：香川県歴史博物館講堂（定員：200名）

参加費：正会員・事前登録：1,000円、正会員・当日受付：1,500円 非会員（事前登録なし）：3,000円

ご注意：*事前登録制を導入しています。

受付期間：2008年1月14日～1月28日（※2008年1月4日～WEB先行受付）

※変更となる場合もあります。詳細は学会ホームページ（<http://www.jss.org/>）をご参照ください。

*事前登録は登録時点で入会が承認されている会員の方のみご利用が可能です。

非会員の方や入会手続き中の方はご利用いただけません。

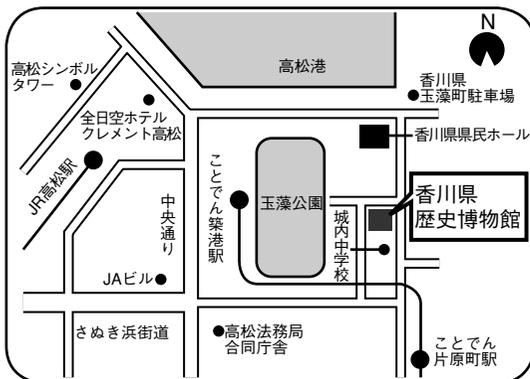
*事前登録の方のみで定員に達した場合は、未登録の方の当日ご参加はお受けできません。

*事前登録で空席がある場合にのみ当日のご参加をお受けいたしますが、受付開始は事前登録の方を優先させていただきます。

*地方会ご参加の方は事前登録の有無に関わらず、会員証をご持参ください。

*会場内でのビデオカメラおよびデジタルカメラでの撮影は禁止といたします。

*本会は、日本超音波医学会認定の検査士資格更新、5単位が取得できます。



香川県歴史博物館講堂

〒760-0030 香川県高松市玉藻町5番5号

- JR 高松駅から東へ900m
 - ことடன்高松築港駅から東へ800m
 - ことடன்片原町駅から北へ500m
 - 高松自動車道高松西ICから車で15分
 - 高松自動車道高松中央ICから車で10分
 - 駐車場
地下駐車場（普通乗用車50台）
 - ・使用料：25分あたり100円
 - ・使用時間：午前9時～午後10時
- 近くに香川県玉藻町駐車場があります。

連絡先：〒799-1592 愛媛県今治市喜多村7-1-6 済生会今治病院検査科 渡邊 亮司

TEL: 0898-47-2500（内線：1142）

E-mail: jss-shikoku@jss.org（できるだけEメールをお願いします）

9:00～9:30	受 付
9:30～9:40	開会挨拶・オリエンテーション
9:40～10:40	<p>第Ⅰ部 講演 講 演：「日常超音波検査における婦人科領域の評価法」 講 師：西森 美佐子（だいいちリハビリテーション病院超音波検査室） 司 会：田中 朝子（清和病院）</p> <p>腹部超音波検査において、婦人科領域に所見を認めることや、症状などから評価しなければならぬ症例も意外とあると思います。今回の講演では、日常検査で遭遇し得る婦人科領域の症例などについて解説すると、操作法においてちょっとしたコツなどを紹介したいと思います。</p>
10:40～10:50	休 憩
10:50～11:50	<p>第Ⅱ部 講演 講 演：「診断・治療における心臓超音波検査の意義」 講 師：川合 宏哉（神戸大学大学院 循環呼吸器病態学） 司 会：前田 泰弘（健康保険鳴門病院）</p> <p>ソノグラファーとして検査した患者様がどのように治療方針が決定され、どのように治療が施行され、効果かどうだったかというところを知る必要があると思います。今回のご講演では、心臓超音波検査がどのように診断・治療に役立っているかなどをご講演いただきます。</p>
11:50～12:50	昼 食
12:50～14:20	<p>第Ⅲ部 一般演題 座 長：三谷 哲也（高知大学病院検査部） 西尾 進（徳島市民病院中央検査科）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 左足踵部皮下の異物（ガラス片）混入の1症例 坂井 祐一（愛媛生協病院 検査室） 2. 急性扁桃炎に伴う内頸静脈血栓性静脈炎の1例 濱吉 沙織（高知医療センター医療技術局） 3. 心エコーで発見された腎癌の一例 亀岡千映子（愛媛県立中央病院検査部） 4. ソナゾイド法で興味ある造影パターンを呈した肝腫瘤の一例 山尾 雅美（徳島市民病院生理検査室） 5. RFA 治療後の肝癌局所再発診断に造影超音波（ソナゾイド）が有用であった1例 菅美樹（愛媛県立中央病院検査部）
14:20～14:30	休 憩
14:30～16:20	<p>第Ⅳ部 ハンズオン講演 講 演：「日常検査に役立つ頸動脈超音波検査技術」 ハンズオン講師：谷本 泰三（香川県立中央病院中央検査部） 口演講師・司会：渡邊 亮司（済生会今治病院検査科）</p> <p>頸動脈超音波検査において大切なのは、検査し得る範囲だけではなく、周囲血管の構造を理解することと、系統的な検査手技の習得だと思います。講演では必要な解剖学や基本的な検査手技を装置操作法や画像の描出法などスライドを交え、実際にライブでご覧いただきながら、わかりやすく解説したいと思います。また、講演後には質問コーナーを設けたいと思います。</p>